

「経済地理学会の初心を貫く有志の会」の文書に対する返信

「有志の会」の文書、および経済地理学会から送付されてきた「経済地理学会会則改定案(1997/99年度幹事会提案)」ほか各種の文書(「役員選出規定案」、「議論の経緯」、「幹事会案の補足説明」)を比較しつつ拝読しました。その結果、経済地理学会の在り方の根幹にかかわる組織問題や役員選出問題について、たいへんな問題点のあることがわかりました。こういう問題や問題点について、一般会員や名誉会員への情報開示が、今回送付されてきた文書も含めて、従来きわめて不十分であったことも、はっきりわかりました。幹事会は秘密会ではないのですから、さまざまな意見、討議内容、討議経過、組織検討委員会報告などを、一般会員・名誉会員にもよくわかるように詳細に文書化し、説明会を開き、場合によっては学会内公聴会を開いて会員の意見も反映してほしいとさえ思います。

結論として、総会にトラブルを持ち込まないよう審議を十分に慎重につくすという経済地理学会の伝統と慣例にのっとり、会則改定案は総会議題からはずすべきだ、というのが私の強い意見です。したがって、「有志の会」の文書にある「採決は来年の総会以降まで持ち越し」することに賛成いたします。

1999年5月15日

経済地理学会元会長

経済地理学会名誉会員

青木外志夫